

2003/8/30

2003年度 原子核三者若手 夏の学校 三者総会 議事録

文責:石掛 真人(新潟大学)

1 2003年度三者準備校(東京都立大学、北海道大学)

活動報告、決算報告および旅費補助の決定時期について報告され、承認された。

Q: 例年は大学毎にポスターを配布していたが、今回はなぜ各研究室毎にポスターを配ったのか?

A: 学校毎では各研究室に届くまで時間がかかるため。

C: ポスター配布について、各大学内でしっかりしていく必要がある。

(以下、Q: 質問、A: 回答、C: コメント、とする。)

2 2003年度三者センター校(筑波大学)

- 活動報告がされた。
- 援助と協賛について報告された。
- 繰越金問題について再報告された。
- 2003年度夏の学校の中間的な決算報告がなされ承認された。最終的な決定は秋の学会で行われる予定である。
- 秋の学会の日程が早まっているため、各役職校およびWGに対して、できるだけ早い時期に決算を提出もらうよう呼びかけた。

3 2003年度三者事務局(新潟大学)

- 活動報告および会計報告がなされた。
- 役職校が選定され、承認された。

Q: 事務局のページから講義録のページへリンクがたどれなかった。

A: 確認してみます。

4 2004年度センター校(東京大学)

- 2004年度援助申請についての報告がなされた。前年度と同様に基研および素粒子論グループに援助申請する予定であることが報告された。

5 夏の学校の(簡易)改革(東京大学)

- Web上に散乱された夏の学校に関するリソースを集約して一括して管理したいという提案がなされ、承認された。今後、HP・ML管理校と相談してやって行くつもりである。また、有志も募るつもりである。
- 三者若手の掲示板をもっと積極的に使ってほしいという事が主張された。

6 2004年度三者事務局(東北大学)

2003年度秋の学会における三者総会の時期が早いことから、すみやかに議案を提出してほしいとの連絡があった。

7 2004年度三者準備校(金沢大学)

2004年度の夏の学校開催地、開催場所について以下の2つのどちらがよいか、決議してほしいとの議案が提出された。

- 木島平で8月2日から8月7日までの5泊6日
- オリンピックセンターで、8月のなるべく早い時期に5泊6日

説明：木島平は、すでに予約済である。オリンピックセンターは1年前からでしか予約が出来ず、それ以前に予約が出来きる団体がいるために、8月上旬に予約を取るのは困難である。現状では、22日から27日は可能である。

以下、質疑応答及びコメント。

Q: 木島平へ行くためのバスは運行しているのか？

A: はい。

Q: もし来年の夏の学校をオリンピックセンターで行うなら、開催時期が遅くなる。したがって、再来年の準備校が動き出すのが遅くなるのでは？

A: 我々もそうだったが、もっと早くから動く必要がある。

Q: もしオリンピックセンターで予約をとるとして、来年の8月上旬は空きがあるのか？

A: 8月上旬にはお得意様がいるので、おそらく空いていない。

Q: 来年のS Iの時期は？

A: 8月12日から8月19日までです。

C: 今年はM2以上の方が多数参加してくれた。

C: 今回の夏の学校は、他団体に女性が多かったのも、女性も参加しやすかったのではないか。

- 今回の夏の学校の開催場所となったオリンピックセンターについて、利点と思った点、欠点と思った点が挙げられた。主な内容は以下のものである。

－ 利点と考えられる点

- * 参加者の金銭的負担が軽い。
- * 講義室、会場の設備が充実している。

- * 交通の便がよい。

- － 欠点と考えられる点

- * 例年に比べ、M1 どちらのつながりが希薄になっている感じがする。

- * 準備校の負担が大きい。

- * 講義室、会場の使用時間をきっちり守らなければならない。

- * 部屋でお酒が飲めない。外に飲みに行くので高くなる。

- * リース代が高い。

Q: M1 の意見を聞くべきでは？

A: M1 は木島平とオリンピックセンターを比較できないので、このような問いは最終的に意味がないだろう。

- 多数決の結果は以下の通りであった。

- － 木島平がよい：34人

- － オリンピックセンターがよい：53人

- － 棄権：9人

これらの意見を参考に、金沢大学が次期開催場を決定することになった。結果はメールで報告されることになった。